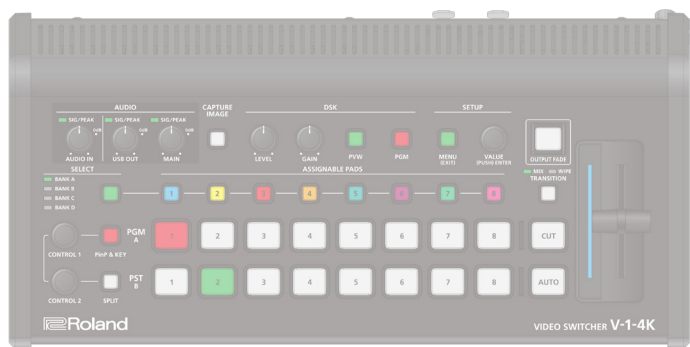


VIDEO SWITCHER V-1-4K



同梱物の確認をする

同梱物がすべてそろっているか確認してください。同梱物に不足があった場合は、お買い上げ店までご連絡ください。

- | | |
|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> V-1-4K 本体 | <input type="checkbox"/> スタートアップ・ガイド (本書) |
| <input type="checkbox"/> AC アダプター | <input type="checkbox"/> 「安全上のご注意」 チラシ |
| <input type="checkbox"/> 電源コード | <input type="checkbox"/> 保証書 |

PDF マニュアル (Web からダウンロード)

● リファレンス・マニュアル

さらに詳しい操作説明やメニュー一覧などを記載しています。

ダウンロード方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

https://roland.cm/v-1-4k_om



V-1-4K のシステム・プログラムを最新の状態にしてお使いください。

システム・プログラムのバージョンアップ情報は、ローランドのホームページ (<https://proav.roland.com/jp/>) をご覧ください。

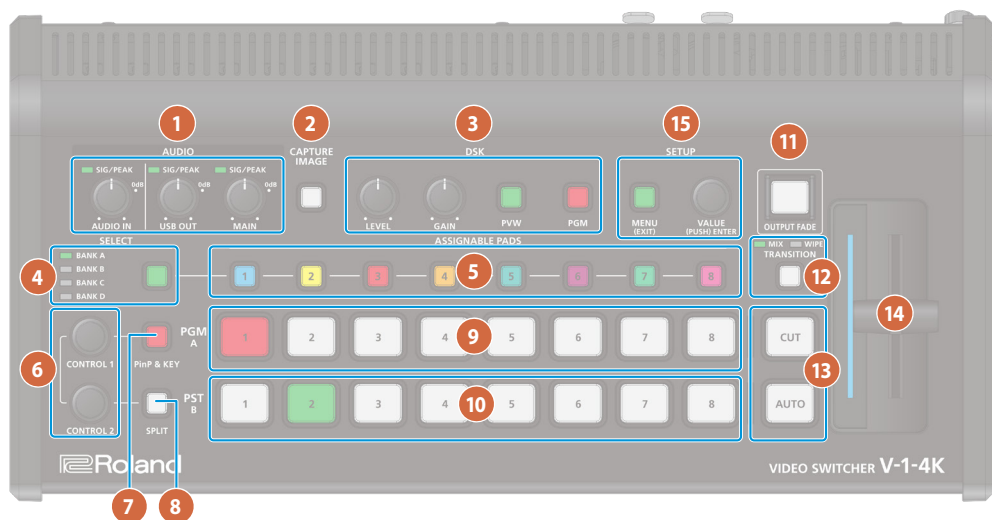
システム・プログラムのバージョンは、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [VERSION] で確認することができます。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(『安全上のご注意』チラシとスタートアップ・ガイド(P.7))をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル

※ パネルにある吸気口／排気口を塞がないでください。吸気口／排気口を塞いでしまうと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。



1 AUDIO

SIG/PEAK インジケータ (AUDIO IN)

AUDIO IN 端子のオーディオ入力レベルを表示します。

[AUDIO IN] つまみ

AUDIO IN 端子のオーディオ入力レベルを調節します。

SIG/PEAK インジケータ (USB OUT)

USB STREAM 端子のオーディオ出力レベルを表示します。

レベルが -50dB 以上になると緑点灯します。過大出力 (0dB 以上) になると赤点灯します。

[USB OUT] つまみ

USB STREAM 端子からのオーディオ出力レベルを調節します。

SIG/PEAK インジケータ (MAIN)

MAIN バスのレベルを表示します。

レベルが -50dB 以上になると緑点灯します。過大出力 (0dB 以上) になると赤点灯します。

[MAIN] つまみ

オーディオ出力全体のレベルを調節します。

メモ

AUDIO の各つまみで調節する音声バスや、各インジケータが表示する音声バスを変更することができます。

2 [CAPTURE IMAGE] ボタン

静止画キャプチャー・モードをオン／オフします。

3 DSK

ダウンストリーム・キーヤー (DSK) による映像合成をします。

[LEVEL] つまみ

キーの抜け具合 (透過度) を調節します。

[GAIN] つまみ

キーのエッジのぼかし具合 (半透過領域) を調節します。

[PVW] ボタン

DSK 合成結果のプレビュー出力をオン／オフします。

[PGM] ボタン

DSK 合成をオン／オフします。

4 [SELECT] ボタン

5 ASSIGNABLE PADS (アサイナブル・パッド) [1] ~ [8] のバンクを切り替えます。

ボタンを押すたびに、バンク A ~ D が切り替わります。

5 ASSIGNABLE PADS (アサイナブル・パッド) [1] ~ [8]

パッドを押すと、割り当てられている機能を実行します。

アサイナブル・パッドでは、8つのパッド×4バンク (BANK A ~ D) に機能を割り当てることができます。

パッドに割り当てる機能は、メニューで設定します。

6 [CONTROL 1] [CONTROL 2] つまみ

映像合成の設定を調整します。

[PinP & KEY] ボタン点灯

つまみ	説明
[CONTROL 1]	子画面の水平方向の位置を調節します。 押しながら回す： 子画面のサイズを調節します。
[CONTROL 2]	子画面の垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す： 子画面映像の拡大率を調節します。

[SPLIT] ボタン点灯

つまみ	説明
[CONTROL 1]	左側／上側に配置された映像の水平／垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す： 境界線の位置を調節します。
[CONTROL 2]	右側／下側に配置された映像の水平／垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す： 境界線の位置を調節します。

7 [PinP & KEY] ボタン

ピクチャーインピクチャー (PinP) による映像合成をオン／オフします。

8 [SPLIT] ボタン

スプリットによる映像合成をオン／オフします。

9 PGM / A クロスポイント [1] ～ [8] ボタン

PGM/A バスにを入力する映像を選びます。選ばれたボタンは、赤点灯します。

10 PST / B クロスポイント [1] ～ [8] ボタン

PST/B バスにを入力する映像を選びます。選ばれたボタンは、緑点灯します。

11 [OUTPUT FADE] ボタン

最終出力映像と音声をフェード・イン／アウトします。

点灯	フェード・アウト完了
点滅	フェード・イン／アウト中
消灯	通常の出力

12 [TRANSITION] ボタン

映像切り替え効果 (ミックス、ワイプ) を選びます。

MIX または WIPE インジケーターが点灯し、選択中であることを示します。

13 [CUT] [AUTO] ボタン

PGM/A バスと PST/B バスの映像を自動で切り替えて、最終出力します。

ボタン	説明
[CUT]	瞬時に映像が切り替わります。
[AUTO]	切り替え効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。

14 ビデオ・フェーダー

PGM/A バスと PST/B バスに入力されている映像を手動で切り替えて、最終出力します。

トランジション・インジケーター

インジケーターが点灯して、ビデオ・フェーダーの位置を示します。

ビデオ・フェーダーを完全に倒し切ると、一番上または一番下のトランジション・インジケーターのみが点灯します。

15 SETUP**[MENU] ボタン**

メニューの表示／非表示を切り替えます。

メニューの下位階層が表示されているときは [EXIT] ボタンとして機能し、メニューの階層を抜いたり、操作をキャンセルしたりします。

[VALUE] つまみ

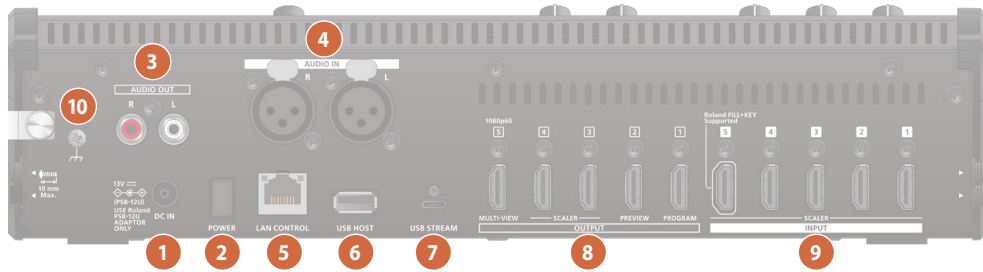
メニュー項目を選んだり、設定値を変更したりします。

押すと、選んだメニュー項目や変更した設定値を決定します。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ パネルにある吸気口／排気口を塞がないでください。吸気口／排気口を塞いでしまうと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。



1 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。
ケーブル・ホルダーに AC アダプターのコードを挟んで、固定することができます。

- ① 取り付けネジを緩め、ケーブル・ホルダーを取りはずす。
- ② ケーブル・ホルダーに AC アダプターのコードを挟み、取り付けネジで固定する。



2 [POWER] ボタン

電源をオン／オフします。

3 AUDIO OUT L、R 端子

音声を出力します。
オーディオ・レコーダーやアンプ、スピーカーなどを接続します。

メモ

音声バス (MAIN バス、AUX 1 バス、AUX 2 バス) の割り当てを変更することができます。

4 AUDIO IN L、R 端子 (XLR)

音声を入力します。
オーディオ・ミキサーなどのオーディオ機器を接続します。

※ AUDIO IN L、R 端子のピン配置



5 LAN CONTROL 端子

- 接続したパソコンから、ターミナル・ソフトウェアなどを使って V-1-4K をリモート・コントロールします。
- 接続したパソコンや iPad から、専用ソフトウェアを使って V-1-4K をリモート・コントロールします。
- 接続したカメラを、V-1-4K からリモート・コントロールします。
- iOS や Android デバイスにタリーを表示します (スマート・タリー機能)。

6 USB HOST 端子

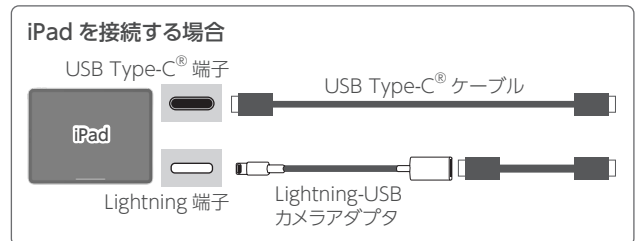
USB ストレージを接続して、本体の設定を USB ストレージにバックアップしたり、USB ストレージから静止画を読み込んだりします。

注意

USB ストレージへのアクセス中は、絶対に電源を切ったり、USB ストレージを抜いたりしないでください。

7 USB STREAM 端子 (USB Type-C®)

- 映像と音声をパソコンに出力します。また、パソコンで再生した音声を V-1-4K に入力します。
- 接続したパソコンや iPad から、専用ソフトウェアを使って V-1-4K をリモート・コントロールします。



注意

- HD や 4K の映像を USB 出力する場合は、USB3.0 に対応した市販の USB ケーブルを使って、パソコンの USB3.0 端子に接続してください。
- 延長ケーブルや USB ハブを使って接続すると、パソコンが V-1-4K を認識しない場合があります。
- 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

8 OUTPUT 1～5 端子

映像を出力します。接続する機器に合わせて、端子を選びます。

端子		説明
1	PROGRAM	最終出力映像
2	PREVIEW	プレビュー出力映像
3	SCALER	以下のいずれかの映像を出力します。
4		<ul style="list-style-type: none"> PROGRAM (最終出力映像) PREVIEW (プレビュー出力映像) INPUT1～5 端子の入力映像
5	MULTI-VIEW	<p>マルチビューの映像として、入出力映像の一覧 (最終出力、プレビュー出力、入力チャンネル 1～5) とメニューが出力されます。</p> <p>※ 出力フォーマットは、1080p60 固定です。</p>

9 INPUT 1～5 端子 (SCALER)

映像を入力します。接続する機器に合わせて、端子を選びます。システム・フォーマットに関係なく、個別に入力フォーマットを設定することができます。

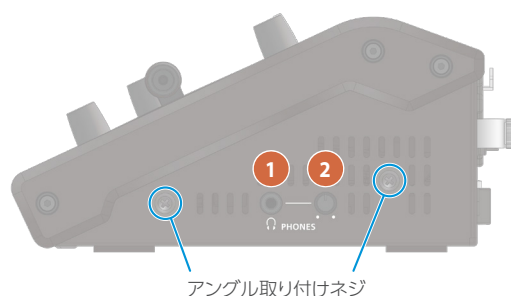
※ INPUT 5 端子は、アプリ「Roland Graphics Presenter」の接続に対応しています。詳しくは『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

10 接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

サイド・パネル

※ パネルにある吸気口／排気口を塞がないでください。吸気口／排気口を塞いでしまうと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。



1 PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

2 [PHONES] つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。

アングル取り付けネジ

アングル取り付けネジを使って、サイド・パネルにアングルを取り付けることができます。

注意

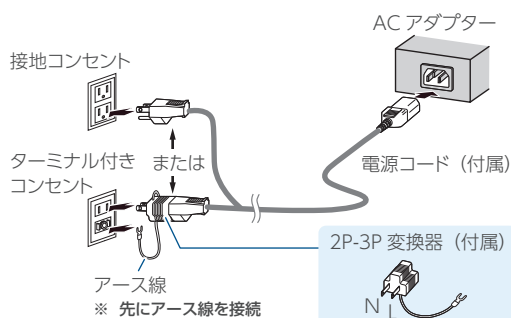
- アングルは、用途に合わせてお客様に自作していただくことになります。アングル製作時は、『リファレンス・マニュアル』(Web) の「寸法図」に記載された数値を参考にしてください。
- 市販のネジ (M4 × 10mm) を使って、アングルを取り付けることもできます。
 - ※ 10mm を超える長いネジは使用しないでください。本体内の部品の損傷や故障の原因になります。
- 取り付けるときは、指などはさまないようご注意ください。

電源コードの接続



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグが付いています。



コンセントが接地コンセント (端子穴が 3 個) の場合

そのままコンセントにプラグを差し込んでください。

コンセントがアースターミナル付きコンセント (端子穴が 2 個) の場合

プラグに 2P-3P 変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。



警告

アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースをはずすときは必ず、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事に接地工事を依頼してください。

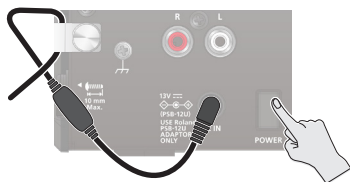
基本操作

電源を入れる／切る

- ※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ※ 本機は 1 か月を超える長期間の連続稼働をサポートしていません。長期間お使いになる場合は、定期的に電源の入切をしてください。

電源を入れる

1. すべての機器の電源がオフになっていることを確認する。
2. V-1-4K の [POWER] ボタンをオンにして、電源を入れる。



3. ソース機器の電源を入れる。

ビデオ・カメラなど、V-1-4K の入力端子に接続したソース機器の電源を入れます。

4. 出力機器の電源を入れる。

プロジェクターなど、V-1-4K の出力端子に接続した機器の電源を入れます。

電源を切る

1. 出力機器→ソース機器の順に電源を切る。
2. V-1-4K の [POWER] スイッチをオフにする。

注意

マルチビューのメニュー表示部に「PLEASE WAIT」などのメッセージが表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。設定内容の保存に失敗する恐れがあります。

メニューの操作

メニューを表示して、映像／音声に関する設定や本体の設定をします。

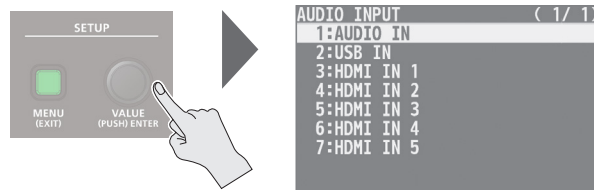
メニューは、OUTPUT 5 (MULTI-VIEW) 端子に接続したディスプレイに表示されます。

1. [MENU] ボタンを押して、メニューを表示させる。



[MENU] ボタンが点灯し、メニューのカテゴリーが表示されます。

2. [VALUE] つまみを回してカテゴリーを選び、[VALUE] つまみを押して決定する。



選んだカテゴリーのメニュー項目が表示されます。

3. [VALUE] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押して決定する。

カーソルが設定値に移動します。

- メニュー階層が深い場合は、手順 3 を繰り返します。
 - [MENU] (EXIT) ボタンを押すと、1 つ上の階層に戻ります。
4. [VALUE] つまみを回して、設定値を変更する。
 - [VALUE] つまみを押しながら回すと、設定値を大きく変えることができます。
 - [VALUE] つまみを長押しすると、設定中のメニュー項目が初期値に戻ります。
 5. [VALUE] つまみを押して、設定を確定させる。

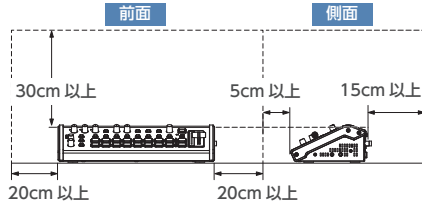
カーソルがメニュー項目に戻ります。
 6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

安全上のご注意

警告

スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



警告

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります (P.5)。



注意

小さな部品はお子様手の届かないところに置く

下記の部品はお子様がついて飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



• 取りはずしが可能な部品

ケーブル・ホルダー／取り付けネジ (P.4)

アングル取り付けネジ (P.5)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、緩んではずれないように確実に取り付けてください。



やけどしないように注意する

本体底面は高温になりますので、やけどしないよう注意してください。



使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、文字が表示された面が下になるように設置してください。

設置について

- 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または当社サポート窓口にご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 本機を使用すると、極めて速いスピードでの映像切り替えや映像効果のオン/オフが可能です。そのような映像を見ると、体調によっては頭痛をもちおしたり気分が悪くなったりする可能性があります。本機を用いて、このような健康を害する恐れのある映像を制作しないでください。あなた自身もしくは他の視聴者の健康が害されても、当社は一切の責任を負いません。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。
- 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

ローランド株式会社

〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田 1-6-4

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
- 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
- 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- 本機は電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネット・プロバイダーなど) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを經由して接続してください。

知的財産権について

- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品 (電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど)

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品 (ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など)

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



